

北地域まちづくり新聞

かわら版

第107号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2021. 10. 1(神無月)

(仮称) 大口北防災拠点施設 整備工事進行中!

屋内運動場(旧北小体育館)を(仮称)大口北防災拠点施設とする整備工事が、来年4月開設に向けて着々と進んでいます。併せて多世代が集う憩い広場に、『かまどベンチ』と『あずまや』が完成しました。8月25日(水)に町の維持管理課主催で関係者による見学会が催され、北地域自治組織からは役員と防災部会員が参加しました。

『かまどベンチ』とは、平常時はベンチとして使われているものを、災害時は炊き出し用のかまどとして利用することができます。

『あずまや』は、平常時は休憩所として利用しますが、災害時はテントシートで囲み、仮避難所として活用することができます。

広場になじむデザインでありながら、緊急時には様々な機能によって防災の役割を果たします。どちらも簡単に設置することができ、いざという時も安心です。



【平常時ベンチとして使用】



【災害時の炊き出し用かまどとして利用】



【休憩所として利用】



【テントシートで囲み仮避難所として活用】

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

Mazak
ヤマザキ マザック 株式会社

防災・防犯も **CCNet®**



安全・安心チャンネル

123ch

10月から放送スタート!!(予定)

お問合せ・取材情報は

CCNet コールセンター

☎ 0120-441061

(9:00 ~ 18:00 日・祝除く)

地区委員会～地域の困り事を地区の皆さんと解決～

6月から7月にかけて、今年度第1回地区委員会を行いました。地区委員会とは、地区ごとに自治組織会員が集まり、協議する場です。以下に意見の一部を紹介します。

《外坪》

- ・通学路の草取りを、住民（特に子供さんの親）へ呼びかけするとよい。
- ・災害が起きたら自分の地区の避難所はどこにあり、備蓄品はあるのかがわからない。
- ・朝、交通渋滞で時間規制や狭い通学路を抜けるため、狭い道路で車が多い。

《中小口》

- ・コロナ禍で2年続けて側溝の清掃ができなかった。環境と水害対策のため、区の行事として側溝マス清掃を実施する。
- ・コロナ禍で子ども会が動きにくいいため、区で実施案を作成し、子ども会と相談する。
- ・班長が高齢者宅を訪ねると「詐欺ではないか」と警戒されることもある。『災害時に支援を希望する方の名簿』作成は、普段からの人間関係を強める事に役立つと思う。
- ・自分の地区の備蓄品は無い。行政区での備蓄が必要であるかどうかの検討を始めても良いと思う。

《下小口》

- ・区と自治組織がもっと連携し、地域の人と交流があると良い。
- ・防犯教室等を実施しても参加者が少人数のため、今後行政区と一緒にいき、底辺を増やしたい。

これらの意見を踏まえ、今後、自治組織は課題ごとに行政区または町と話し合いを重ね、問題点を解決できるよう努めてまいります。

感謝の言葉が届きました～北小4年生の皆さん～

6月9日（水）に実施した自転車教室の感想や感謝の言葉が綴られた冊子が、児童の皆さんから届きました。

☆感想の一部を紹介します☆

 信号や横断歩道、踏切などいろいろな物の準備をしてくださったおかげで、走行する所や止まる位置などがよくわかりました。ありがとうございました。

 止まれの標識があるときは、白線の前で止まることがわかりました。

 いつも登下校の時に見守ってくださり、ありがとうございます。

皆さんからの感謝の言葉を励みに、自治組織としてこれからも児童生徒の皆さんの安心安全を願い、活動を続けていきたいと思います。



【感謝の言葉が綴られた冊子】

7月21日（水）に名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）で行われた『交通安全子ども自転車愛知県大会』に北小学校防犯少年団の6年生4名が出場され、「敢闘賞」を受賞されました。

※お知らせ：タオルを使った安否確認訓練は11月以降に延期となりました。